【イベント内容参照資料】

| 項目 | | 内容 |
|---|---|---|
| イベントタイトル | | 「モノ＋スゴ」プロジェクト in みなとアクルス |
| 開催日時 | | 平成３１年（２０１９年）２月２２日（金）・２３日（土）<br>１０：００～１８：００（両日とも） |
| 会場 | | 「みなとアクルス」（名古屋市港区港明二丁目他） |
| | メイン会場 | ららぽーと名古屋みなとアクルス１階「センターコート」<br>（名古屋市港区港明二丁目３番２号） |
| コンセプト・開催趣旨 | 「モノ＋スゴ」プロジェクトとは | ・当地域の強みである「産業（主にモノづくり）」に様々な価値を「＋（プラス）」し、「産業のちから」の『楽しさ』『凄さ』『可能性』を発信する名古屋商工会議所の取り組み「モノ＋（プラス）プロジェクト（注）」の一環。<br>・「モノ＋スゴ」プロジェクトは、当地域の様々な企業が生み出す最先端技術を集客スポット等に展開し、多くの人々にその凄さ、うれしさを体感していただく「街なか先端技術ショーケース」。 |
| | 今回のイベントのねらい | ・名古屋に新たに生まれたスマートタウン「みなとアクルス」に、多彩な地元企業８社が集結。主に「ららぽーと名古屋みなとアクルス」にご来店の多くのお客様に、各社が開発した先端技術を観て、触って、体験していただき、当地域の「産業のちから」の魅力に浸っていただきます。 |
| 「出展品目」〈出展企業〉 | 「ＨＳＲ」<br>(Human Support Robot)<br>〈トヨタ自動車株式会社〉 | ■未来の人々の暮らしをサポートする生活支援ロボット。<br>◇メイン会場内の「ボッチャ(※)」体験コートで、投げられたボールを拾い、回収する役目で活躍する様子をご覧いただきます。<br>※　赤と青のボールを投げ合い、的球の白いボールにどれだけ近づけられるかを競う「パラリンピック」公式競技の障がい者スポーツ |
| | 「ＩＬＹ－Ａｉ」(ｱｲﾘｰ･ｴｰｱｲ)<br>〈アイシン精機株式会社〉 | ■将来の公道を含む歩行者空間で、移動制約の垣根を取り払い人々の移動の助けとなる近未来のパーソナルモビリティ。<br>◇メイン会場で自動デモ走行実演のほか、親子での試乗体験もできます。 |
| | 「自動運転実証用ﾌﾟﾗｯﾄﾌｫｰﾑ」<br>〈新明工業株式会社〉 | ■超小型ＥＶ「コムス」をベースに、様々な企業や研究機関による自動運転システムの走行実証に供用する目的で開発された、汎用性のあるプラットフォーム車両（名古屋大学との共同）。<br>◇メイン会場に実車展示し、パネルと映像でご紹介します。 |
| | 「ＶＲ－ＣＡＲ」<br>〈株式会社デンソー〉 | ■超小型ＥＶ「コムス」と映像システムを組み合わせ、未来の移動を疑似体験できるＶＲ（Virtual Reality：仮想現実）マシン。<br>◇メイン会場で乗車体験できます。 |
| | 「火の学びＶＲ」<br>〈東邦ガス株式会社〉 | ■ＶＲ（Virtual Reality：仮想現実）空間でのガスコンロ調理体験を通じて、安全に火の使い方を学ぶことができるシステム。<br>◇メイン会場で体験できます。 |

| 項目 | | 内容 |
|---|---|---|
| 「出展品目」〈出展企業〉 | **「ﾎﾟﾘｴｽﾃﾙ繊維生地加工技術」**<br><br>**〈尾張整染株式会社〉** | ■多様化、高度化するニーズに応じて、ポリエステル繊維の布地に様々な機能と驚くほどの色彩、質感を与える染色・加工技術。<br>◇メイン会場で様々な加工サンプルを観て触れて、繊維素材の発展性を体感していただきます。 |
| | **「非接触バイタルセンサー」**<br><br>**〈株式会社 Gold key Co., Ltd〉** | ■身体に装着することなく、体温や脈拍、血流などの生体データを測定できるセンシング・解析技術。<br>◇メイン会場で、軽い運動によって生体データがどれだけ変化するかをリアルタイムで測定する体験ができます。 |
| | **「スマホでグルック」**<br><br>**〈株式会社報徳情報技術〉** | ■商品等の 360 度回転画像を簡単に制作し、インターネット通販等のＷＥＢサイトに掲載できるスマートフォンアプリ。<br>◇メイン会場で、お客様ご自身やお連れのお子様の 360 度回転画像を撮影し、デモ用ＷＥＢサイトに掲載する体験ができます。 |
| | 「モノ＋スゴ」プロジェクト版<br>**「みなとアクルスエコツアー」**<br><br>**〈東邦ガス株式会社〉**<br>**〈東邦不動産株式会社〉**<br>**〈トヨタ自動車株式会社〉** | ■スマートタウン「みなとアクルス」の先進的なエネルギーシステムを、ＡＲ（Augment Reality：拡張現実）タブレットを使って紹介するツアーに、「燃料電池バス　ＳＯＲＡ」に乗車し、エリア内の施設（水素ステーションやスポーツ施設など）を巡るツアーを組み合わせた、「モノ＋スゴ」プロジェクトならではのコラボレーション企画（全行程約 60 分）。<br>◇メイン会場の受付で当日予約して参加できます。 |
| | **「燃料電池バス　ＳＯＲＡ」**<br><br>**〈トヨタ自動車株式会社〉** | ■燃料として供給される「水素」と大気中の「酸素」との化学反応で発電する「燃料電池」を動力源とし、走行時に CO2 や環境負荷物質を排出しない優れた環境性能と、騒音や振動が少ない快適な乗り心地を実現したバス車両。 |

**【凡例】■…各出展品目の概要説明　　◇…イベント当日の展示態様・体験等の概要説明**

**注…「モノ＋（プラス）プロジェクト」**

2020 年東京オリンピック・パラリンピック競技大会の開催を通じて、東京は「スポーツのちから」で人々に心の豊かさや「わくわく・どきどき」を提供するのに対し、当地では、地域の強みである「産業のちから」で同様の体験を提供することを目指し、「モノ＋（プラス）プロジェクト」として、以下の事業を企画・展開。

①**「モノ＋シリ」プロジェクト**：地域の産業観光資源開拓とプレミアム感のあるツアー造成
②**「モノ＋スゴ」プロジェクト**：地域の産業のちからが生み出す最先端技術を街なかに展開
③**「モノ＋フェス」プロジェクト**：東京ｵﾘﾝﾋﾟｯｸ･ﾊﾟﾗﾝﾋﾟｯｸに関連付けた技術展（2020 年春）
④**「モノ＋ガタリ」プロジェクト**：企業の現場で活躍する「匠」の技と思いを子ども達に伝承
⑤**「モノ＋ゴコロ」プロジェクト**：障がい者スポーツ支援による「こころのバリアフリー」実現

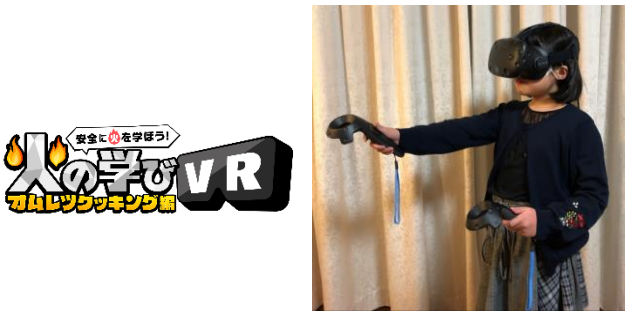
【出展品目画像】

トヨタ自動車株式会社「HSR(Human Support Robot)」

アイシン精機株式会社「ILY-Ai」

新明工業株式会社「自動運転実証用ﾌﾟﾗｯﾄﾌｫｰﾑ」

株式会社デンソー「VR-CAR」




東邦ガス株式会社「火の学び VR」

尾張整染株式会社「ﾎﾟﾘｴｽﾃﾙ繊維生地加工技術」

株式会社 Gold Key Co., Ltd「非接触ﾊﾞｲﾀﾙｾﾝｻｰ」

株式会社 報徳情報技術「スマホでグルック」

東邦ガス株式会社「みなとアクルスエコツアー」

トヨタ自動車株式会社「燃料電池バスＳＯＲＡ」